六ヶ所ウラン濃縮工場に係る定期報告書
（令和8年9月及び令和8年度第2四半期報告）

２０２６濃 運 発 第 ９３号
令 和 ８年 １０月 ３０日

青森県危機管理局
原子力安全対策課長
神　正志　殿

日本原燃株式会社
執　行　役　員
濃 縮 事 業 部 長
西條　政明

六ヶ所ウラン濃縮工場周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第10条第１項の規定に基づく細則第６条第１項の下記事項について別紙のとおり報告します。

記

１．運転状況及び主要な保守状況
２．放射線業務従事者の被ばく状況
（四半期毎の報告月に限り記載する。）
３．女子の放射線業務従事者の被ばく状況
（四半期毎の報告月に限り記載する。）
４．放射性物質及びフッ素化合物の放出状況
５．放射性廃棄物の保管廃棄量
６．核燃料物質の在庫量
（半期毎の報告月に限り記載する。）

別紙

１．運転状況及び主要な保守状況（令和8年9月分）

		令和8年9月
運転状況	RE-1A	※1
	RE-1B	※2
	RE-1C	※3
	RE-1D	※4
	RE-2A	運転中
	RE-2B	※5
	RE-2C	※6
主要な保守状況		定期事業者検査 ・UF_6処理設備 ・気体廃棄物の廃棄設備

（備考）

※1　RE-1A:運転停止中(H12. 4. 3～)

※2　RE-1B:運転停止中(H14.12.19～)

※3　RE-1C:運転停止中(H15. 6.30～)

※4　RE-1D:運転停止中(H17.11.30～)

※5　RE-2B:運転停止中(H22.12.15～)

※6　RE-2C:運転停止中(H20. 2.12～)

２．放射線業務従事者の被ばく状況（令和8年度第2四半期分）

ウラン濃縮施設　（単位：人）

	放射線業務従事者数	線量（mSv）区分別放射線業務従事者数					
		５以下	５を超え15以下	15を超え20以下	20を超え25以下	25を超え50以下	50を超えるもの
当該四半期	597	597	0	0	0	0	0
年度							

その他施設（研究開発棟）　（単位：人）

	放射線業務従事者数	線量（mSv）区分別放射線業務従事者数					
		５以下	５を超え15以下	15を超え20以下	20を超え25以下	25を超え50以下	50を超えるもの
当該四半期	110	110	0	0	0	0	0
年度							

（注１）５mSv以下については、被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む。

（注２）四半期毎の報告月に限り記載する。（年度については第４四半期に限り記載する。）

３．女子の放射線業務従事者の被ばく状況（令和8年度第2四半期分）

ウラン濃縮施設　（単位：人）

放射線業務従事者数	３月間の線量（mSv）区分別放射線業務従事者数			
	１以下	１を超え２以下	２を超え５以下	５を超えるもの
17	17	0	0	0

その他施設（研究開発棟）　（単位：人）

放射線業務従事者数	３月間の線量（mSv）区分別放射線業務従事者数			
	１以下	１を超え２以下	２を超え５以下	５を超えるもの
4	4	0	0	0

（注１）１mSv以下については、被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む。

（注２）妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者を除く。

（注３）四半期毎の報告月に限り記載する。

４．放射性物質及びフッ素化合物の放出状況（令和8年9月分）

ウラン濃縮施設

放射性廃棄物等の種類		測定の箇所	平均濃度
ウ ラ ン	気体	排気口	ND　　(Bq/cm^3)
	液体	処理水ピット	放出実績なし　　(Bq/cm^3)
フッ素化合物	気体（ＨＦ）	排気口	ND　　(mg/m^3)
	液体（Ｆ）	処理水ピット	放出実績なし（mg/リットル）

その他施設（研究開発棟）

放射性廃棄物等の種類		測定の箇所	平均濃度
ウ ラ ン	気　体	排　気　口	ND　　(Bq/cm^3)
	液　体	処理水ピット	ND　　(Bq/cm^3)
フッ素化合物	気　体（ＨＦ）	排　気　口	ND　　(mg/m^3)
	液　体（Ｆ）	処理水ピット	ND（mg/リットル）

（注）ＮＤは、検出限界未満を示す。

５．放射性廃棄物の保管廃棄量（令和8年9月分）

ウラン濃縮施設　（単位：本）

放射性廃棄物の種類	当該期間の保管廃棄量	累積保管廃棄量
放射性固体廃棄物 （使用済遠心機を除く）	22	16,286
放射性液体廃棄物	0	62
付着ウラン回収に伴い発生する 放射性液体廃棄物	0	61
付着ウラン回収に伴い発生する 放射性気体廃棄物	0	0

（単位：tSWU／年相当分）

放射性廃棄物の種類	当該期間の保管廃棄量	累積保管廃棄量
放射性固体廃棄物 （使用済遠心機）	0	450

その他施設（研究開発棟）　（単位：本）

放射性廃棄物の種類	当該期間の保管廃棄量	累積保管廃棄量
放射性固体廃棄物	4	1,419
放射性液体廃棄物	0	55

（注１）放射性固体廃棄物（使用済遠心機を除く）および放射性固体廃棄物については、200リットルドラム缶換算本数で示す。

（注２）放射性液体廃棄物については、20リットルドラム缶換算本数で示す。

（注３）付着ウラン回収に伴い発生する放射性液体廃棄物および付着ウラン回収に伴い発生する放射性気体廃棄物については、80ｋｇボンベ換算本数で示す。

（注４）放射性固体廃棄物（使用済遠心機）については、遠心分離機の分離作業能力換算数で示す。

６．核燃料物質の在庫量（令和8年9月末現在）

ウラン濃縮施設　（単位：本）

	天然ウラン	濃縮ウラン	劣化ウラン	回収した付着ウラン
在庫量	52	164	1,171	6

その他施設（研究開発棟）　（単位：本）

	天然ウラン	濃縮ウラン	劣化ウラン
在庫量	2	0	0

（注１）六フッ化ウランの在庫量をシリンダ本数で示す。

（注２）半期毎の報告月に限り記載する。